ふれあい昆虫館の平成24年度管理状況

施設所管課	観光交流局交流政策課
指定管理者	(財) 石川県県民ふれあい公社 理事長 橋本 政人
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日

(1) 管理業務の実施状況

(1) 官埋耒務の美施状	<i>1</i> /L
業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の	施設の使用受付、案内等の接遇向上
提供に関する業務	・職員間の意見交換等を行うことで、情報を共有するととも
	に展示内容の説明技術の向上を図るなどして、接遇向上に
	努めた。
	利用者の苦情・意見の把握・対応
	・来館者に対し、積極的に展示説明を行うなどしてコミュニ
	ケーションを図り、利用者ニーズを把握。
	・HPで、お問い合せアドレスを掲載し、昆虫館や昆虫につ
	いての意見・質問を聴取し、速やかに返答するとともに、
	利用者ニーズに添った運営を実施。
	・要望及び苦情に対しては、誠意をもって対応し、速やかに
	県に報告。
	その他特記事項
	・従来から身障者などに車椅子、ベビーカーの無料貸出をし
	ており、また、今年度、独自で授乳室を設置した。
利用の促進に関する業	企画展、イベントの実施
務	・博物館相当施設の指定を受け、輸入規制のある昆虫や希少
	昆虫を展示するなど工夫を凝らした企画展を開催
	・企画展(4 回)・イベントの実施(5 回)
	・昆虫教室・観察会(5月~3月、計9回)357人参加
	・館内うらがわ探検 2,077人参加
	・クイズラリー (GW、夏休み、虫むしフェスタ) 35, 874人参加
	施設の情報提供、広報、広 告
	・イベントチラシを関係機関に配付。
	・ホームページの掲載、メールマガジンの送付(月1回)
	・広報誌むしかご通信の発行(年4回、延8000部)
	・雑誌に広告を掲載
	・無料広報誌への情報提供(県・市広報及び地元情報誌)
	・GW期間に新聞広告の実施
	・夏休み期間に新聞折込チラシ(鶴来周辺地区)を配付、
	新聞広告の実施
	・秋の連休前にのとじま水族館・いしかわ動物園とともに
	石川県内へ新聞折込の実施
	・テレビCMを放映
	周辺地域、関係機関との連携・協同の推進

	・周辺施設(パーク獅子吼、スカイ獅子吼、樹木公園)と 各々のパンフレット等を交互に設置しPR ・公社運営各施設にパンフレット等設置 その他 ・体験型学習コーナーのリニューアルを継続的に実施
H. C. C. L. C. L. Z. W.	・昆虫クイズの内容を独自にリニューアル(新規)
使用の許可に関する業	使用許可、使用料の徴収、納入
務	・使用許可の件数((2)②参照)
	・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維	清掃:良好な環境及び美観の維持に心がけ、日常清掃を実施。
持管理及び修繕に関す	保守点検:施設の安全かつ良好な状態を維持する為、日常点検
る業務	実施。
	警備:開館時間内については、施設内を適宜巡回し、夜間につ
	いては、機械警備により異常発生時に速やかに対応できる体制
	を整えた。
	小規模修繕 ボイラー・エレベーター・空調設備修繕等を実施
	し、施設の保全に努めた。
(その他知事が必要と	緊急時の対応・安全管理などの危機管理
認める業務)	・ふれあい昆虫館消防防災計画等による年1回の消防訓練を実
	施や事故発生等による緊急時対応について職員教育を実施。
	・個人情報の漏洩に注意し厳重に管理。

(2) 施設の利用状況

①利用指標

· 1371334 //				
指標	H23年度	H24年度	前年度比	増減理由
利用者数(人)	89, 083 人	96, 439 人	108.3%	パソコンクイズのリニューアル及び虫の生態展示といった、実際に昆虫にふれあえる企画などを行い、また、学校訪問などのPR活動を強化し、前年比で 8.3%上回る結果となった。

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由	
ふれあい昆虫館	19, 442, 350 円	1, 508, 600 円	身体障害者手帳等保有者	1, 382 人
			プレミアムパスポート提示者	2, 248 人
			県民育児の日	287 人
			学校等行事による申請者	2, 378 人

(4) 収支決算

(千円)

収	入	支	出
管理料	105, 845	人件費	63, 917
利用料収入	19, 442	光熱水費	14, 822
		修繕費	3, 707
		消耗品費	12, 533
		委託料	16, 503
		その他	14, 224
合計	125, 287	合計	125, 706
収支差額	-419		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果 (平成24年4月~平成25年3月実施 有効回答数812件)

項目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	68.4%	31.0%	0.6%	0.0%
施設の維持管理	73.3%	25. 2%	1. 4%	0.1%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
2 4 年 4 月	駐車場に行くまでの敷地内で枯	確認の上、伐採した。
	れ木が目立つ	
24年9月	未就学児が参加できる昆虫教室	未就学児が参加可能な教室を増やす
	が欲しい。	計画とした。(H25から実施)
24年10月	子どもが小さく、タッチパネル画	踏み台を設置した。
	面に手が届かない	

②事故、故障等

年月	内容	対応

③その他報告事項など		

(6)評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
①サービスの維持・向上	В	・アンケートやHPで昆虫館についての意見・質問を聴
や利用促進に向けた		取し、利用者ニーズに沿った運営を実施している。
取組みが行われてい		・ 職員が展示説明を行うなどして来館者とのコミュニ
るか。		ケーションを積極的に図り、利用者ニーズの把握に努
		めている。
		・ 独自で授乳室を設置した。
		・ 学習コーナー展示の改良など継続的なリニューアル
		を実施し、アンケート結果も極めて良好である。
②施設、設備及び備品の	С	・館内の清掃は常に行き届いており、入館者の評判は良い。
維持管理及び修繕が		・ボイラー、エレベーター、空調設備の修繕を行い、施設
適切に行われている		の良好な保全に努めており、アンケート結果も極めて良
か。		好であるが、敷地の管理にまで行き届かない面がある。
③適切に管理運営・危機	В	・「ふれあい昆虫館消防防災計画」等に基づき年1回の訓
管理を行う組織・体制		練を実施しているとともに、事故発生時の緊急対応につ
となっているか。		いて職員教育を実施している。
総合評価	В	・昆虫に対する専門的なノウハウを活かした様々な企画を
		実施するなど、施設の運営管理に創意工夫が認められ
		る。

〇評価基準

A (優): 仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている

B(良): 仕様書等に定める水準を上回っている

C (可): 概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている

D (不可): 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

〇総合評価

A (優):優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている

B(良):優れた管理運営がなされている C(可):適正な管理運営がなされている

D (不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

4+1-4	- I	
特にな	7	
1411-7	· U	